

# 労働組合の必要性を訴えよう

## 第35回東日本本部定期大会

# 国 労 ち ば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発行人 井村 好博  
編集長 安田 正浩

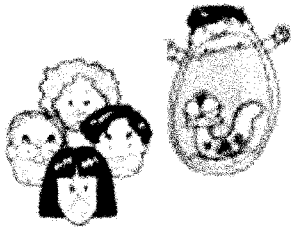
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)6963  
FAX 043(238)6967

何を守る、生命を守る、  
権利を守る、国労で

### 問題を一緒に考え職場の改善へ

9月11日、国労東日本本部は、第35回定期大会を新橋交通ビルの会議室にて開催した。今回は一部の代議員と、すべての傍聴者がリモートという混在の大会となった。

地本の事務室で傍聴した組合員からは「実際に会場にいるのと臨場感・雰囲気は全然違った」などと不評の意見が多く出された。千葉地本から参加した2名の代議員は経過と方針で発言した。新たな運動方針と予算、役員体制を確立し閉会した。



### 経過に対する発言



安田代議員  
佐倉分会

未組織と言われる人たちは私たちの行動を見ている。職場に国労組合員がいる今、環境改善の取り組みから「一緒に変えよう！変えたい！」と訴える。そして魅力ある分会作りへ議論を重ね再編と整備を▼職場代表選挙で組合員を上回る票を得るが国労加入には繋がらない。会社の言いなりで生きる方が楽に見えるのか？▼再雇用者・関連会社社員の加入があるが収入が減っている中で組合費値上げは反対の意見も。残された選択肢は組織拡大のみ▼千葉地本でも組織強化・拡大へとホームページを活用し

ているが、継続には技術・年齢面でハードルが高い。本部で各地本のホームページの取りまとめの検討を▼新型コロナで職場・仕事の様変わり、コロナを理由にした合理化やワンマン運転などの問題を駅頭宣伝で地域・利用者へ訴えてきた▼コロナのPCR検査や職域接種を健診センターでの実施を▼今春闘は厳しい状況下で定昇が半額に。本部は東労組の先行妥結を理由に責任回避していかないか？国労の要求を示し先に妥結させない、一致点があれば共闘を呼びかけるなど対策を▼今年1月に核兵器禁止条約が発効、他の平和運動と同様の運動を▼立憲野党と市民が一体となり国民の手に政治を取り戻す流れが拡大、国労も平和憲法保持、国民無視の政治を続ける自公政権を打倒するため奮闘しよう。

### 方針に対する発言



北嶋代議員  
千葉電気分会

JR千葉支社の今年度の目標は「黒字化」2年連続赤字阻止が至上命令。「柔軟な働き方」により16駅で46名の削減提案▼3月のダイヤ改正でワンマン運転拡大が導入された。関係自治体や議員に安全性や異常時対応から拡大反対を訴えてきた。また駅頭で利用者へ、さらに地域の労働組合へも協力を要請し「利用者アンケート」を取り組んだ▼ワンマン運転で乗客がケガをする事象が発生。会社は「ドア扱い時間を長くする対応をお願いした」と回答するが、問題は運転士から車内が見えないこと。さらに動物との衝突も多い中、定時運転確保へのプレッシャーもかかる▼「現業機関における柔軟な働き方」は問題が多く乗務員からも不安の声▼本部のいう「交渉強化」で合理化施策の見直し・撤回が出来るのか？▼コロナ禍での自

粛もあり組織拡大が困難さを増す。しかし、会社の低額回答や労働実態から不平・不満の声が多く聞かれる。「社員代表選挙」では国労の立候補者に組合員以上の得票。労働組合だから出来ること、言わなきゃ変わらないことを訴え拡大につなげていきたい▼JRS Sでは、コロナを口実に話し合いを拒否、隠蔽、一人勤務駅での体調不良など問題が発生している本部交渉だけでは解決できない。地方でも交渉できる体制の構築を。

**新執行委員会あいさつ**  
伊藤新委員長は新執行委員会を代表し「退任される大沼委員長、佐藤執行委員、小向監査委員の労苦に全体の拍手で応えたい。新執行部の任務は各社の窓口機関として組合員の付託に答えるかだ。また、次世代へのバトンタッチをどう図るか。JR東日本の進める施策により問題は山積している。9地方本部と相談し、この難局を乗り越えていきたいので協力をお願いする」とあいさつした。

### 合意録

新型コロナウイルスが急速に減少し始めている。その要因は？明確な回答は出ていない。そうした中で自民党総裁選挙が戦われた。この選挙は、次期首相を選ぶ選挙でもある。それは権力と共に生き残るのかを決する選挙であるだけに様々なたたかさを見せて展開された。マスコミも新型コロナ関連情報より総裁選に集中。候補者の主張も新型コロナ対策は二の次。後には総選挙が控える。市民共闘を中心に野党統一候補づくりが進められている。野党第一党の立憲民主党の果たすべき役割は極めて重要だが、この間の動きは謙虚さに欠けているように見える。党利党略だけに埋没せず、数の力で戦後最悪の政治を続けてきた自民党「安倍」政治に終止符を打つために努力する姿を国民に見せ、共感を得て実現を目指す必要がある。私たち組織された労働者も職場・地域でその闘いの一翼を担い奮闘しなければならぬと痛感する今日この頃である。

# 「労使」共同の取り組みが必要

## 新型コロナウイルス感染症における団交を円滑

9月6日、4月に申し入れた新型コロナウイルス感染症対策の団交がやっと開催された。

JR千葉支社からの主な回答は次の通り。  
(団交情報No811より抜粋)

▼感染の疑いや濃厚接触、陽性判定などでの勤務の取り扱いには就業規則に則り取り扱い、労務提供出来るかどうかで判断している。

▼職場で感染者が出た場合は保健所にヒアリングし、消毒は自分たち(職場)で行い保健所に連絡している。

▼職場でクラスターが発生したら作業削減や応援などの対策を考える必要がある。

▼マスク・石鹸は現場、ペーパータオル・消毒液は支社、フェイスシールドは運輸・駅職場へ、汚物処理用手袋は各駅

に配布している。  
▼業務に必要な要員を確保し予備行路や日勤の方の自宅待機などの扱いは現場長判断。

▼営業時間の短縮や自動券売機削減は以前の利用率になれば戻すこともあるが利用状況をみて判断している。

▼感染に関する情報は個人情報と踏まえ拡大防止に必要な情報を提供している。

▼業務委託会社とも連携を図り感染拡大防止に向けた対応を行っている。

▼支社内では、食堂にパーティションを設置Web会議を増加、訓練は人数を減らし分散して回数を増やす等の対策を取っている。

職場からクラスターを出さないことが重要であり、要員の確保も必要である。

「安心・安全」を維持・拡大するのは会社だけでは出来ない。

「労使」が共同して取り組む必要がある。会社の取り組みに不備があれば指摘し、改善へ要求していく。

## 乗務員の業務等の見直しについて

運協 ニュース 第294号より抜粋

9月15日、JR東日本本社より、国労東日本本部へ「乗務員の業務等に関する見直しについて」提案がされた。

「柔軟な働き方」を実現するため、働きやすさの向上を図ると会社は言うが、提案の中心は効率化・経費削減につながるいくつかの点。

一つは、乗継時の出場の見直しで、3分前出場しているものを、を「余裕を持った出場」と、3分の時間をカットして乗務員個人に出場する時間をゆだねている。

また、泊行路の起床点呼後の5分の付加時間もカットされる。

出区電車のドア開けにおいても、5分前・10分前出場の車掌によるドア開扉の指定がなくなり、運転士がドア

扱いするようになる。この削られた時間分はどうなるのだろうか。

## 不当解雇撤回・現職復帰



9月16日、ユナイテッド闘争団の二人が地本事務所を訪れ、執行委員へ、闘いの経過と、10・1

銀座デモ」への参加を呼び掛けた。

2016年5月、史上最高利益を上げ、米国内で大量の乗務員を新規採用する一方で、日本人乗務員12名を不当解雇したユナイテッド航空。

解雇撤回の闘いが始まったから5年目を迎えた。一番では、整理解雇は有効との不当判決。

この不当判決を不服として東京高裁で争われてきた控訴審の判決が年内

にも出されようとしている。

整理解雇を名目とした不当解雇は断じて許せない。昨年には、ユナイテッド航空は、コロナでの業績悪化を理由にさらなる不当解雇をおこない、理

不尽な解雇を不服とした新たな訴訟が提訴されている。

こうした状況の中で、ユナイテッド闘争団の闘いは重要な意味を持つ。

### ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する

協賛組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に専心することを目的とします。

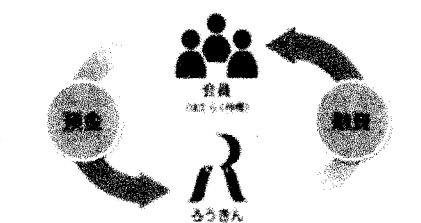
ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に資して会員の信頼に応えます。



ろうきんは「はたらく仲間がつくった」福祉金融機関です。ろうきんは「暮らしを目的としない」福祉機関です。ろうきんは「生活者本位に考える」金融機関です。



## 衆議院議員選挙に勝利しよう!!

10月19日(火)告示、10月31日(日)投票の日程で衆議院議員選挙を行うと岸田新政権は公表した。  
国民不在の政治を進めてきた「安倍・菅政権」を引き継ぐ岸田・自公政権を打倒し、平和憲法を守り、国民の手に政治を取り戻すため、野党共闘が進められている。  
こうした候補者の勝利へ職場・地域から奮闘しよう!!